

1. 自己紹介

私は、日置市内の日置市農業公社で研修を終了した結城 晃（ゆうき あきら）です。出身地は鹿児島市です。

令和3年4月から令和5年3月の2年間、日置市農業公社で、ソリダゴの研修に参加しました。現在は、規模拡大ができ、26aの施設ハウスでソリダゴを夫婦二人で栽培し、生計を立てられるよう頑張っています。



結城 晃さん

2. 研修に参加した理由・目的

結婚後、夫婦二人とも農業をしたいという思いがあって、まずは、どこに住みたいから考え始めて、日吉町が気に入り、住むことに決めました。その後、役場へ就農相談に行き、日置市農業公社と鹿児島県立農業大学校を紹介されました。日置市農業公社では、研修作物はソリダゴとミニトマトの二つがあって、食べる作物には農薬を使いたくないという思いからソリダゴに決め、栽培技術等の習得に努めました。



ハウスで育つソリダゴ

3. 研修内容について

研修では土づくりや水やり等の全てが知らないことばかりでしたが、毎日が新鮮で楽しかったのを覚えています。

今思うと就農するなら研修は必須だと思います。それは、先輩農家の基礎的な知識や栽培技術を学べたり、関係機関のサポートを受けやすいからです。

4. 将来のビジョン

ソリダゴはJAを通して販売していますが、実需者側が欲しい時期に出荷できないと価格交渉ができないので、年間を通して安定供給ができるように面積の拡大と単収向上を目指していきます。（目標：8.5万本/10a、地域の平均単収6～7万本/10a）

5. これから就農を目指す人へのメッセージ等

困ったり、悩んだりしたときに、どうしても自分で頑張ろうと思ってしまいますが、知識がないので一人で頑張ってもたかが知れていると思います。どんどん人を頼ることで、自分と違う視点の意見がたくさん聞くことができ、早く課題解決できると思います。

20代、30代で就農を迷っているなら、一步踏み出してやってみる価値はあるので、若い人が農業を始められるよう背中を押してあげられればと思います。

研修先：日置市農業公社 担当者 前田

所在地及び連絡先 日置市吹上町 2847 番地 電話：099-245-1700

e-mail Hioki-kousya@po5.synapse.ne.jp